

島

と共に

およそ4,800万年前に生まれたこの島は、110年前までは無人島でした。古来、琉球人の間では、“うふあがり島”（大きい東の島）として知られていました。そこにゆめと安住の地を求めて入植した八丈島の人々と、その後、希望と富をこの島に託し、故郷を後にして沖縄各地から移住した人々が開拓精神を胸に島の歴史を積み重ねてきました。豊かな自然、温かな人情とともに、未来への新しいチャレンジに村民ひとつひとつになって取り組んでいます。



あったか
南大東合衆国

働き世代

(19才～64才)

730人

いつも心が触れあう、
どこでも手を結びあえる
島の豊かさがある。

絆

高齢世代

(65才～100才)

305人



子供たち

(0才～18才)

248人



島の総人口

1,283人

平成22年4月現在

子供たち

島の生活スケッチ

島が大好きな子供たち

明るく元気に育つ 島っ子は未来の宝。

子どもたちは島の宝。大東島の太陽と潮風に包まれながら、文武両道の理念のもとで健全な心と体を育んでいます。



柔武館

平成8年9月に“文武両道”を基本理念に発足された柔道塾。県内の各種の大会で多くの優勝者や入賞者を輩出した実績と実力は、島の子供達の間人形成へ大きな役割を果たしています。



大東太鼓“碧会”

ポロジノ娘と同様に地元の祭や県内外の各種イベントなどに参加する碧会は現在40名の子供達が毎日練習に励んでいます。八丈太鼓の流れをくむ大東太鼓は両面打ちで自由に打つのが特徴だが鼓動に響く迫力には感動ものです。



ポロジノ娘

メンバー全員が三線の見事な腕前を披露するポロジノ娘。南大東島の魅力を華やかな歌で、島内外、県外などでもPRし活躍しています。CDをリリースするほどの実力と人気は本物です。

子供たちの
村民ボイス

島の自然の中で遊ぶのも、 島の文化に触れるのも、みんな大好き!

島の子供たちはみんな元気だ。学校が終わったらお手伝いもするけど、柔道で心と体をビシッと鍛えたり、大東太鼓を夢中で打つと心臓にビリビリ響いて迫力満点でカッコイイ。島唄ユニットのポロジノ娘は輝いて島のアイドル。きれいな歌声と三線の音色は、みんなの憧れです。島の貴重な伝統文化を僕たち、私たちが誇りに思いながらしっかり受け継いでいきます。

島と共に

島の生活スケッチ

島が 産 産 産 産 産 産 産 産

家族や仲間たちに囲まれて
一生懸命に働く姿が輝いている。

働き世代



島の基幹産業は農業、広大な耕作面積で育てられるサウキビ。そして豊かな漁場も自慢です。

島の発展を目指して村民一丸となり、日々、懸命に取り組んでいます。



整備された港で明るく元気に働く漁業者



農業の傍らでトラックの手入れをする若者



生活の物資など船荷の積み下ろしで、元気に働くお父さんたち



農作業に仲良く汗を流す親子



自動車や農機の整備、修理のことならおまかせ!

働き世代の
村民ボイス

より豊かな暮らしのために
島の仲間が集い、力を合わせています。

南大東島に住む人は、みんな家族のようなもの。家族みんなが豊かに、充実した暮らしを願うのは当たり前。サウキビの量産や魚の加工食品開発、基幹産業を支える機械・工業分野などで日々、島民の心はひとつとなり知恵や工夫を出し合い、協力し合う。その姿勢も島の自慢のひとつです。

島全体の心意気は我が南大東島だからこそ! 笑顔で支えてくれる母ちゃんたちにも感謝しています。



島の生活スケッチ

島が 産 産 産 産 産 産 産 産

健康増進を図りながら、ゆったりと元気に暮らすことを目指しています。

高齢世代

穏やかな時間が流れる島で
いきいきと暮らしている。



元気ハツラツおじいちゃん



祭りに参加する元気なオジー、オバーたち



孫と共にゆったり過ごす充実の日々

高齢世代の
村民ボイス

小さな島を支え続けてきたパワーは今も元気に健在!

私達の若いときはみんな、生活のためにがむしゃらに働きました。今は、屋内ゲートボール場や高齢者生活福祉センター、保健センターなど公共施設が充実しており、高齢者のみならず若い世代とも交流を楽しみながら、安心して暮らすことができるのがうれしい。

のんびりと孫の面倒を見るのも一つの仕事、畑仕事をおえた後の晩酌も楽しみ、みんなそんなふうにして自分のペースでいきいきと暮らしています。



デイサービスを楽しむ高齢者